



柳沢中学校通信

朱雀の翼

のびる学校 つながる学校 元気がでる学校

西東京市立柳沢中学校

校長 浅野 周子

電話番号 042-463-5014

FAX番号 042-462-3104

令和8年7月14日 第4号



7月のテーマは



そうぞう 創造

一度きりの夏休みを、 自分らしく「クリエイト」しよう

さんさんと輝く夏の太陽とともに、いよいよ待ちに待った夏休みが近づいてきました。

皆さんにとって、13歳、14歳、15歳の夏休みは、人生で一度きりしかありません。「創造」と聞くと、美術の作品を作ることや、新しいものを発明するような、特別な才能をイメージする人がいるかもしれませんが、皆さんには、もっと身近で、もっとワクワクする「創造」—「自分自身をクリエイト（創造）する」に挑戦してほしいです。

自分をクリエイトするとは、これまでの「自分の枠」を少しだけ超えて、新しい自分の一面を自分で作り出していくことです。誰かに決められたスケジュールをただ消化するだけの毎日は、やらされ感があり、退屈さを感じることもありそうです。

この長い休みをどう過ごしたいか、どんな経験で自分を成長させるのか。自分で考えて自分で決め、行動に移すことが、最高にクリエイティブな挑戦なのです。

では、今日からできることを紹介してみます

① 「もしも～だったら」の視点で日常を見る

いつもの勉強方法や自分の部屋を「もしもここに新しいお店を開くなら?」「もしもこの仕組みをガリと変えるなら?」という視点で見慣れたものを見つめ直してみましょう。当たり前前の風景に疑問をもつことから、すべての創造は始まります。

② スマホの「消費」を「表現」に変える

動画やゲームをただ「消費」する側から、一歩踏み出してみましょう。素敵な写真の構図を研究してみ

る、心に響いた言葉をメモする、自分でイラストや文章を描いてみる。受け取る側から「発信する側」の視点をもつことで、脳のクリエイティブなスイッチが入ります。

③ 「あえて、普段やらないこと」を一つ選ぶ

読んだことのないジャンルの本を開く、入ったことのないお店に入る、普段は話さない人に挨拶を試してみる。自分の「いつもの選択」をあえて崩すことで、新しい価値観やアイデアが脳内にブレンドされ、視野が広がり、創造力の引き出しが増えていきます。

④ 「なぜ?」を3つを見つける

ニュースや日々の生活で「おもしろいな」「不思議だな」と思ったことに対して、「なぜこうなっているのだろう?」と3つのなぜを掘り下げてみてください。物事の裏側にある仕組みや、人の思いや気持ちに気づく力が育ちます。

⑤ 失敗を恐れず「ます形にする」

頭の中で素晴らしいアイデアを考えても、行動しなければゼロのままです。料理を作る、部屋の模様替えをする、自由研究で仮説を立てて実験してみる。うまくできなくてもいいのです。まずは行動してみること。その試行錯誤のプロセスこそが、創造力を最も強く鍛えてくれます。

創造力とは、誰も思いつかない魔法を生み出す力ではありません。目の前にある現実に興味をもち、自分なりに工夫して、新しい価値を見出していくことです。

この夏、受け身の毎日で終わらせるか、それとも自分で自分をクリエイトするかは、皆さん次第です。新学期、ひと回り遅しく、クリエイティブに進化を遂げた皆さんと笑顔で再会できることを、楽しみにしています。



働く人の話を聞く会



先日、第2学年と1組を対象に地域のおやじの会主催による「働く人の話を聞く会」が開催されました。様々な職業の方々が、時に熱く、時にユーモアを交えて語ってくださったリアルな経験談は、皆さんの目にもどう映ったでしょうか。

「なぜ、大人は毎日働くのだろう」。そんな疑問をもった人もいるかもしれません。生きるため、お金を稼ぐため。確かにそれも大切な現実です。しかし、それだけが働く理由ではありません。仕事の本質は、誰かの「困った」を解決し、社会に「ありがとう」を増やすことにあります。自分の流した汗が、どこかの誰かの笑顔や安心につながっている。これこそが、大人が働き続ける本当の喜びであり、誇りなのです。

「まだ将来の夢が見つからない」と焦る必要はまったくありません。今、皆さんが向き合っている日々の勉強や部活動、委員会活動、そして人との関係づくりのすべてが、未来の自分を作る土台になっています。

学校でのアンテナを広げ、「自分は何に心が動き、どんな瞬間にやりがいを感じるのか」を探してみてください。その発見の積み重ねが、やがて進路や職業を選ぶ確かな道標（みちしるべ）になります。

大人になるということは、義務が増えることではありません。自分の「好き」や「得意」を活かして、自分の力で、自分や誰かを幸せにできる「自由」を手に入れることです。皆さんがどんな素晴らしい未来を創り出し、社会へ羽ばたいていくのか、楽しみです。

移動教室 I 組

7月7日（火）～8日（水）にI組の移動教室を実施いたしました。大自然や慣れない環境のなかで過ごした時間は、生徒たちにとって机上では得がたいすばらしい経験になったのではないのでしょうか。陶芸体験、館山城の見学、マザー牧場での搾乳や乗馬体験、南房総最南端の地から見渡した広く青い海など、まさに教育的効果の高い機会だったと思います。

体験学習の最大の意義は「実生活に直結する生きた学び」にあります。五感をフルに活用して実物に触れ、仲間と寝食を共にする活動は、日常の学校生活では経験できない貴重で自他ともに関する深い理解を促します。

また、集団行動における自分の役割やルールを守るなかで学ぶことは、社会性と自己管理能力を育む強力なアプローチでもあります。

「できた」という一つひとつの成功体験は、生徒たちの自己肯定感を高め、将来の自立に向けた主体的な言動につながります。

この移動教室で得た自信と、仲間との絆を感じることができたら、今後の学校生活、そして社会へと踏み出す確かな一歩へとつなげていけるのではないのでしょうか。



中学生から取得できる資格

いろいろ集めてみました 挑戦

ビジネス著作権検定（初級）法学検定試験（基礎コース）個人情報保護士認定試験、消費生活アドバイザー（消費者教育・日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会）ジュニア防災検定 / 防災検定
農業技術検定 食生活アドバイザー、家庭料理技能検定、日本おさかな検定、環境力オリスタ検定 eco 検定、色彩検定、金融知力検定（ジュニア）、日本城郭検定
神社検定英語検定、漢字検定、数学検定、歴史検定、手話技能検定、点字検定、個人情報保護士認定試験、ビジネス著作権検定（初級）、法学検定試験（基礎コース）、日本健康マスター検定、健康福祉運動指導者（初級セミナー等）、ジュニア・プログラミング検定、日商 PC 検定、歴史能力検定（歴検）、ことわざ能力検定（ことわざ検定）、語彙・読解力検定、世界遺産検定……………

